



Cisco IOS XE Cupertino 17.9.x の新機能

- [Cisco IOS XE Cupertino 17.9.2 の新機能 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 の新機能 \(1 ページ\)](#)

Cisco IOS XE Cupertino 17.9.2 の新機能

Cisco IOS XE Cupertino 17.9.2 のハードウェア機能

このリリースでは新しいハードウェア機能はありません。

Cisco IOS XE Cupertino 17.9.2 のソフトウェア機能

このリリースでは、新しいソフトウェア機能はありません。

Cisco IOS XE Cupertino 17.9.2 でのハードウェアとソフトウェアの動作の変更

Cisco IOS XE Cupertino 17.9.2 では動作の変更はありません。

Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 の新機能

Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 のハードウェア機能

機能名	説明とドキュメントのリンク
C9300-NM-2Y の Cisco 10GBASELR/10GBASEBR/25GBASEBR モジュール	C9300-NM-2Y ネットワークモジュールでは、次の SFP がサポートされています。 <ul style="list-style-type: none">• SFP-10/25G-BXD-I• SFP-10/25G-BXU-I

Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 のソフトウェア機能

機能名	説明
同じインターフェイスでの出力 SPAN による DHCP スヌーピング	非 SDA 展開用に、同じインターフェイスで DHCP スヌーピングと出力 SPAN を同時に設定するためのサポートが導入されました。
プログラマビリティ <ul style="list-style-type: none"> • YANG データ モデル • Pubd の再起動可能性 	このリリースでは次のプログラマビリティ機能が導入されました。 <ul style="list-style-type: none"> • YANG データモデル：このリリースで使用できる Cisco IOS XE YANG モデルのリストについては、https://github.com/YangModels/yang/tree/master/vendor/cisco/xe/1791 を参照してください。 YANG ファイルに埋め込まれているリビジョンステートメントは、モデルのリビジョンがあるかどうかを示します。同じ GitHub の場所にある README.md ファイルに、このリリースに加えられた変更がまとめられています。 <ul style="list-style-type: none"> • Pubd の再起動可能性：このリリースでは、pubd プロセスはすべてのプラットフォームで再起動可能です。このリリースより前は、pubd は特定のプラットフォームでのみ再起動可能でした。他のプラットフォームで pubd プロセスを再起動するには、デバイス全体を再起動する必要がありました。
ポリシーを使用したスマートライセンス <ul style="list-style-type: none"> • データプライバシー関連情報を送信する新しいメカニズム • ホスト名のサポート 	このリリースではポリシーを使用した次のスマートライセンス機能が導入されました。 <ul style="list-style-type: none"> • データプライバシー関連情報を送信する新しいメカニズム：この情報は RUM レポートに含まれなくなりました。 データプライバシーが無効になっている場合 (<code>no license smart privacy { all hostname version }</code> グローバル コンフィギュレーション コマンド)、データプライバシー関連の情報は、別の同期メッセージまたはオフラインファイルで送信されます。 <p>実装したトポロジに応じて、製品インスタンスが別のメッセージでこの情報の送信を開始するか、CSLU および SSM オンプレミスが製品インスタンスからのこの情報の取得を開始するか、またはこの情報が <code>license smart save usage</code> 特権 EXEC コマンドを入力すると生成されるオフラインファイルに保存されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ホスト名のサポート：ホスト名情報の送信のサポートが導入されました。 製品インスタンスでホスト名を構成し、対応するプライバシー設定を無効にすると (<code>no license smart privacy hostname</code> グローバル コンフィギュレーション コマンド)、ホスト名情報が別の同期メッセージまたはオフラインファイルで製品インスタンスから送信されます。 <p>実装したトポロジに応じて、ホスト名情報は CSSM、および CSLU または SSM オンプレミスによって受信されます。その後、対応するユーザーインターフェイスに表示されます。</p>
バンドルモードでの SMU インストールの無効化	SMU インストールのサポートは、バンドルモードでは無効になっています。インストールはインストールモードでのみサポートされています。

機能名	説明
PI SSH のサポート	次の暗号化アルゴリズムに対する Cisco IOS SSH サーバーおよびクライアントのサポートが導入されました。 <ul style="list-style-type: none"> • aes128-gcm@openssh.com • aes256-gcm@openssh.com
IPSec <ul style="list-style-type: none"> • BGP EVPN VXLAN over IPSec • IPsec NAT 透過性 • 「VRF Aware IPsec」 	このリリースでは、次の IPsec 機能が導入されました。 <ul style="list-style-type: none"> • IPsec ベースのアンダーレイネットワークは、ソース VTEP と宛先 VTEP の間で VXLAN でカプセル化されたパケットを安全に転送します。IPsec トンネルを使用して BGP EVPN VXLAN データトラフィックを保護すると、データが暗号化され、データの整合性が維持されます。 • IPsec NAT 透過性機能では、ネットワーク アドレス変換 (NAT) とポートアドレス変換 (PAT) の間における多くの既知の非互換性に対処することによって、ネットワーク内の NAT ポイントまたは PAT ポイントを経由して送信される IP セキュリティ (IPsec) のサポートが導入されています。 • VRF-Aware IPsec 機能には、マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) バーチャルプライベート ネットワーク (VPN) に対する IP Security (IPsec) トンネルマッピングが導入されています。VRF-Aware IPsec 機能を使用すれば、シングルパブリック方向アドレスによって、VPN ルーティング/転送 (VRF) に対して IPsec トンネルをマッピングできます。
SXP バージョン 5	SXP バージョン 5 は、指定された SXP ピア間の SXP マッピングをエクスポートおよびインポートするように設計されています。

WebUI の新機能

このリリースに WebUI 機能はありません。

Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 でのハードウェアとソフトウェアの動作の変更

動作の変更	説明
カスタム SDM テンプレート：デフォルトの FIB MAC アドレス値	カスタム FIB MAC アドレスの最小値/デフォルト値は 16K です。1k エントリの数の設定可能な範囲は 16 ~ 128 です。 Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 以降、これは後続のすべてのリリースに適用されます。

動作の変更	説明
SPAN セッションでキャプチャされた DHCP 出力パケット	デバイスで DHCP スヌーピングが有効になっている場合、SPAN セッションは Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) 出力パケットをキャプチャします。
show version コマンド出力の最後にリロードした理由	ユーザー EXEC モードでの show version コマンド出力が変更されました。これは、スタックされたスイッチにのみ適用されます。最後にリロードした理由でエラーが表示されなくなりました。
MTU パケット長	17.9.1 より前では、デバイスは最大許容パケット長を超える 4 バイトを送信していました。このリリース以降、デバイスは、標準許容パケット長に従ってパケットを送信します。
PTP : BMCA ツリー階層	PTP (Precision Time Protocol) プロファイルは、Best Master Clock Algorithm (BMCA) からツリーを作成するように変更されています。PTP トポロジのポートの障害を避けるために、BMCA はスパンニングツリープロトコル (STP) から独立しています。
RUM レポートスロットリング	<p>製品インスタンスが通信を開始するすべてのトポロジで、レポートの最小頻度は 1 日に制限されます。これは、製品インスタンスが 1 日に複数の RUM レポートを送信しないことを意味します。</p> <p>影響を受けるトポロジは、CSSM に直接接続、CSLU を介して CSSM に接続 (製品インスタンス開始型通信)、CSSM から切断された CSLU (製品インスタンス開始型通信) および SSM オンプレミス展開 (製品インスタンス開始型通信) です。</p> <p>これにより、特定のライセンスに対して生成および送信される RUM レポートが多すぎるといった問題が解決されます。また、RUM レポートの過剰な生成によって引き起こされたメモリ関連の問題とシステムのスローダウンも解決します。</p> <p>特権 EXEC モードで license smart sync コマンドを入力すると、レポート頻度のスロットリングを無効にできます。これにより CSSM または CSLU、あるいは SSM オンプレミスとのオンデマンドの同期がトリガーされ、保留中のデータが送受信されます。</p> <p>RUM レポートスロットリングは、17.3.x トレインの Cisco IOS XE Amsterdam 17.3.6 以降のリリース、および 17.6.x トレインの Cisco IOS XE Bengaluru 17.6.4 以降のリリースにも適用されます。Cisco IOS XE Cupertino 17.9.1 以降、RUM レポートスロットリングは後続のすべてのリリースに適用されます。</p>
show vlan mapping コマンドの出力	show vlan mapping コマンドの出力が変更されました。5 GigabitEthernet インターフェイスに関する情報が出力に表示されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。